



学園記念ホール
ステンドグラス



Information From

Nichi-On

since 1903

— 創立105周年 —

The Four Seasons

フォー・シーズンズ — 四季

日本音楽学校 幼児教育科 学生向情報

4・5月号
2008. 第137号
編集発行 学園事務局



今年度から、この学生向情報誌の名称を「The Four Seasons」と変更し、新たな出発をいたします。
発行はほぼ隔月(年5回)となります。今後ともご愛読ください。



《4～6月の行事予定》

1年生	
4/ 4(金)	入学式
7(月)	全体オリエンテーション
8(火)～9(水)	集中オリエンテーション
10(木)	前期授業開始
18(金)	健康診断
24(木)～25(金)	宿泊研修：山梨県西湖
5/28(水)	実習オリエンテーション
6/ 6(金)	実習前授業終了
9(月)～20(金)	幼稚園観察実習
23(月)	授業再開

2年生	
4/ 2(水)	オリエンテーション (聴力検査・教科書販売含む)
3(木)	前期授業開始(火曜振替)
18(金)	健康診断
24(木)～25(金)	1年生宿泊研修の為休講
5/21(水)	実習オリエンテーション
30(金)	実習前授業終了
6/ 2(月)～12(木)	保育園実習(保・保幼)
16(月)～27(金)	幼稚園実習(保幼)
	施設実習(保)
30(月)	授業再開

行事予定は追加・変更になることがありますので
学内掲示等に注意してください。

指導教員

幼児教育科

科長 杉本 信

[ホームルーム担当]

保育士コース

2年 石塚 広美
(諸井 泰子)

保育士・幼稚園教員コース

2年1組 + 1年1組 富岡 麻由子
小嶋 成夫
(杉本 信)

2年2組 + 1年2組 陸路 和佳
並木 真理子

2年3組 + 1年3組 山本 直樹
三澤 裕見子

[幼児教育実践総合センター]

センター長：諸井 泰子

並木 真理子 富岡 麻由子 石塚 広美
杵鞭 広美 小林 明子 佐藤 麻紀子

新任教員

専任 小嶋 成夫 (東京学芸大学専攻科卒)
「造形美術・造形表現指導法」

杵鞭 広美 (東京学芸大学大学院博士課程修)
「障害児保育・地域福祉・保育実習 I
教育相談論・パーソナルデベロップメント」

講師 岩本 泰 (東京学芸大学大学院博士課程修)
「環境指導法」

宮脇 文恵
(日本社会事業大学大学院修士課程修)
「社会福祉」

後藤 加奈子 (明治学院大学卒)
「社会福祉援助技術」

退任教員

専任 三小田 美穂子 亀井 哲宏 濱野 俊彦

講師 今井 正江 成田 美恵子
中目 ますみ 長友 祐三
小川 教子



今日ここに、平成19年度、日本音楽学校の卒業式を挙行いたしましたところ、ご多用の中にもかかわらず、本校同窓会長様を始め学園に関係するご来賓の方々にご臨席を賜りました。厚く御礼申し上げます。また本日の卒業式を一番喜んでおられる保護者の皆様に対しまして、ご子息、ご息女のご卒業を心からお祝い申し上げます。

さて、本日主役の卒業生諸君、ご卒業おめでとうございます。

これまでは学習することを自分に課し、指導を受け、その分の対価を支払ってきました。しかしこれからは、他の人に働きかける立場、即ち支援するとか教育する立場に皆さんは移動することになります。

今日は、立場の違いに関わる2つのエピソードをお話し、餞の言葉といたします。

さて早速 4月から、みなさんの仕事と、責任に対して対価が支払われるでしょう。多くの方は、最初、このくらいで我慢するか、と考えますが、しばらくするともっとたくさんの月給がほしくなるものです。それを欲が深いというか、向上心があるというか、身の程知らずというか、実に微妙です。しかし、もっとほしいという願いがなくなったら、欲がなくなったら、保守化の始まりです。警戒しなければなりません。ワードで「欲がなくなったら」と打ったら、「翼がなくなったら」と出ました。機械も皮肉な才能を持っていると感心しました。

もっとほしいと思うのは、お金だけではありません。知識も、経験も、技術ももっとほしいと思ひ続けなければなりません。子どもはあなた方の愛情をもっとほしいと願うに違いありません。人間はどんなに幸せになっても、これ以上幸せはいらないと思わないでしょう。もっと何かを欲しいと願う気持ちは、画一的に良い悪いと判断できないのです。

3月3日の朝日新聞の社説に『「こども特定財源」こそ必要だ』というタイトルの記事が掲載されました。

「私たちの将来に重くのしかかる難問を二つ上げるならば、地球温暖化、そして少子化ではなからうか。このままいくと、100年後の人口は4400万人余になってしまうと政府は推計している。今の三分の一に近い。まさかとは思いますが、それほど減少スピードは速く、深刻だ。」

「だが、好転する可能性が無いわけではない。若い世代の9割が結婚したいと考えており、平均で2人以上の子どもをほしいと答えている。

つまり、希望の実現を妨げている要因を一つひとつ取り除き、条件を整えていけば、出生率は大幅に回復するはずなのだ。子どもを生みやすく育てやすい社会にすれば、子どもがほしいという人も自然と増えてくるに違いない。そのために何をするか。少子化対策は「未来への投資」であると考え、思い切って資金を投入しよう。」

この記事は続けて、出生率を回復させたスウェーデンやフランスの例を紹介しています。日本も、仕事を続けながら子育てをする女性を支えるために、保育サービスの充実に増税を含め財源を確保したらよいと言います。さらに仕事と暮らしの両立支援、児童手当の増額、安定した雇用などやるのがたくさんあると書いています。

意地の悪いレポートがあります。フランスはたくさんの若い外国人労働者が住み着き、その結果人口が膨れ上がり、人口増に対応するために膨大な予算を使わざるを得なかったのだとの見方を伝えています。どちらが正しいのでしょうか。

次に、財源を作って、保育サービスの充実が先決だと述べています。その例として福井県の取り組みを紹介しています。保育時間の延長、病気の子どものデイケアなど子育てをしながら仕事を続けられるようにしていると言う。この一時預かり施設では、市のシルバー人材センターから派遣された保育士の資格を持つ人たちが「おばあちゃん感覚」で保育に当たる。会社を退職した団塊の世代の目は、これから地域へ向けられる。これを放っておく手はない。現役をリタイアした団塊の世代の人たちが「自主・自立、共働・共助」の理念で保育の一端を担い、若い人は働きに出なさいと言っているように読める。質よりも安い労働力で子育てを支援しようとする政策に組していると非難されても仕方ありません。保育の本質や制度のあり方をワークシェアリングの観点から論じており、若い保育士の生きがいを無視していると批判されても仕方ありません。

ところが、同じ内容を別の新聞は、こう書いています。

1995年のエンゼルプラン、2001年に小泉内閣が策定した新エンゼルプラン以降、いろいろな政策を採択してきたが、どれも効果が上がらなかった。いろいろな観点からこの問題を論じた結論が、やはり幸せに暮らす親子を増やすことが一番の妙案だと思う、と結んでいます。

読者や聴取者が知ることを求めているから、知る権利に答えるために虐め、虐待、育児放棄といったニュースを流しているが、「幸せに暮らす親子を」を報じる仕事をマスコミがもっと真剣に取り組むべきだと、この記者は暗に仄めかして結んでいます。私も賛成です。そうすればもっと世の中が変わるのではないのでしょうか。

ワーキング・プアという言葉が嫌というほど耳に飛び込んできます。雇用が安定し、将来の見通しが立たないと、若い人は結婚・出産になかなか踏み切れない。だから出生率が下がるのだと主張します。

私たちはそんなに貧しいのでしょうか。本当に貧困である国民は、自分たちが貧困であるとは言いません。貧しいとはどういうことを意味するのでしょうか。

実学という言葉があります。簡単に言うと、米つくりのことは「稲に聞け」ということです。言い換えれば保育のことは「子どもに聞け」ということになります。

しかし、子どもは保育園にだけいるわけではありません。保育園に行けない子どももいます。日常生活の中で見える子どもだけを見ているのでは、子どものくくりが小さすぎます。

これは、ベトナム難民の子どもが売っていた蹄鉄です。しかし生産能力がある難民集団だから、まだ未来があります。

現に今、アジアやアフリカの各地に、未来が描けない子どもたちがいます。ヨーロッパの栄光は、東洋の屈辱であるとアルジェリアのファノンが言いました。ユニセフによればニジェール、バングラディシュ、ジンバブエ、レソト、マラウイ、モザンビーク、スワジランド、ザンビア、ジンバブエ、アンゴラ、イラクのサマーワには、数え切れない孤児や病気や飢餓に苦しんでいる子ども、人生を楽しむことなく、天に召されていく子どもたちが多数います。

私は皆さんに、ぜひ目の前の現実には振り回されることなく、広い現実を見る保育者になってほしいと思います。何もなくてもいいんです。多くを語らなくていいんです。ただそういう子どもたちがいる現実を知らない、目をつぶる保育者になってほしくないのです。

それから結婚して、家庭を作り、生活をエンジョイし、苦勞してください。子育ては生易しいものではありません。いい環境作れ、と言っても一朝一夕には出来ないでしょう。妙案が、答えがあるならば既に行われているはずです。

乳幼児の父親も母親も「思うように」働けるよう、保育施設が設けられました。しかし本来、乳幼児の父親も母親も「思うように」働くべきではない、と主張する人がいます。また「多様な生き方をエンジョイして」働けるよう、保育施設は設けられました。しかし本来「多様な生き方をエンジョイして」働けるような子育てをすべきではない、子どもにしわ寄せがいくような働き方や、生き方をすべきではないとその人は言います。

二つ目に教育者・保育者としてどう教え、支援するかの方法についてお話します。単純に区別して厳しく叱って教育するか、ほめて教育するかと問われれば、多くの方はそれはほめて教育するほうが効果的だと応えます。私もそうだと思います。

では、なぜほめて教育するのがいいのでしょうか。

かつての教育思想は、子どもに対して、どこが足りないか指摘し、足りない部分を補う行為をさしていました。これは東洋的な教育思想です。

ところが西欧化が進むにつれて、これが機能しなくなってきました。西洋的な教育の考え方が紹介されました。Educateということばの語源はラテン語までさかのぼります。ラテン語ではeducateは「能力を引き出す」という意味を持っています。今日では、先生になる人は、こういう教育の考え方を教えられます。皆さんも学んだでしょう。

確かに何が足りないか指摘されて学ぶよりも、「能力を引き出す」教育のほうが、明るく楽しそうです。こういう教育を推進するには怒って教えるより、ほめて教える方が誰しも効果的だと考えるでしょう。

人間が、真剣にほめるのと、怒るのとどっちが難しいか。ほめる方が怒るよりも少し楽だと言われています。

どこが楽かという、自己を見失わないからです。つまりコントロールできるからです。20世紀最高の演出家、演劇教育者、研究者であり、モスクワ芸術家の演出家であったコンスタンチン・スタニスラフスキーはこう述べています。

彼は一つの真実を大切にそこから人物を把握し、創造せよと言いました。悪人を見ると、悪い面に注目しがちです。善人を見るといいところのみを見がちです。これでは人物が一樣になり、立体感や奥行きがなくなります。悪人を創造するときは必ず評価に値するいい点を見つけなさいと演技論の中で言っています。

ほめる所がない人間はいない、ほめるところを見つけれない人は教育者にはなり難い、と考えてください。

さて、ほめると言うのは口先のことではありません。ほめるのはいいところを見つけ、それに共感することです。前より進んだところ、前より考えたところ、前の問題点を修正したところ、前の間違いを見つけたところなどに気付かなければなりません。その事実を彼または彼女にとって偉大な所業であるとあなたは信じなければなりません。

信じられないならばほめてはいけません。誠心誠意、あなたが評価するという意味を伝えることです。ほめるという行為は、あなたが発見した評価すべき点を伝えることなのです。

真剣にほめるにはエネルギーが必要です。自分の気持ちを強く持ち、伝えることに集中しなければなりません。集中できれば自然に言葉も表情も動作も生まれてきます。そして自分の行動を見つめる冷静な自分が存在し、自分をコントロールできる部分が生まれてきます。これがほめると言う行為です。これが教師のほめ方です。

怒るのは大変難しい。口先で怒っても、相手は必ず内面を見透かすでしょう。それが人間であるもって生まれた本能であり、資質です。

とは言え、ほめるときと同じように怒ろうとしても、上手くいけません。筋肉が硬直し、意気が上がり、のどが絞まり、体が震えだし、思考が切断されます。怒っていることは伝わりますが、何を、なぜ怒っているか不鮮明で、どうしろと言っているのか、相手には伝わらないでしょう。

効果を上げる怒り方ができる人は天才です。怒りに少しでも誤っている点があれば紛糾します。怖がらせて、子どもを成長させるのは、大変難しいと思いませんか。一度や二度なら、怒っても効果があるでしょう。しかし四度、五度となると多くのケースでは逆効果となります。

さて諸君、諸君は今日の日を迎えた自分を最高の言葉と、最高のハートでほめてあげてください。教職員の皆さん、卒業生に最高の祝福を与えようではありませんか。最後に保護者の皆さん、ご子息、ご息女に心の中で最高の拍手を送ってあげてください。

今日ここに、平成20年度、日本音楽学校の入学式を挙げていたしまして、ご多用の中にもかかわらず、元衆議院議員、経済人類学者・栗本慎一郎先生を始め学園に関係する方々にご臨席を賜りました。たいへん光栄なことであり、心から御礼申し上げます。

また本日の入学式を一番喜んでおられる保護者の皆様に対しまして、ご子息、ご息女のご入学を心からお祝い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私たちにとって、みなさんは特別の学生であります。みなさんは日本音楽学校最後の入学生であるからです。

来年度は学生募集を行いません。今ここに列席している2年生は、品川区豊町のキャンパスで卒業する最後の学生です。新入生の皆さんには、来年の3月、2年生の卒業をお祝いした後、4月からは有明のキャンパスに移ってまいります。新天地で1年間勉強し、日本音楽学校105年という長い歴史の最後を飾る学生としての榮譽を担って卒業していただくこととなります。

日本音楽学校は実に個性的な教育を作り上げてきました。また実に温かい教育を育んできました。今回、有明教育芸術短期大学を新設するに当たり、何人かの教育学者や保育学者の意見を伺いました。カリキュラム作りに参加していただき、貴重な考えを投入していただきました。

その結果、確かに大学らしい学問体系に基づいた授業科目をカリキュラムの中に配列することができましたし、教育・研究体制もゆるぎなく構築することができました。

しかし、どんな優れたカリキュラムや教授陣をそろえても、日本音楽学校の方が勝っているのではないかと思います。部分がいくつか浮かび上がってきます。日本音楽学校が、105年という歴史の中で培ってきたいろいろな力を自然と兼ね備えているからでしょう。

当たり前のように行なわれてきた素晴らしい教育があります。

その一つは表現コミュニケーションの力を育成する教育です。音楽、造形、身体運動、言葉、ドラマなどの授業を統合して学生たちの表現する能力を育成する授業です。私たちは、学生諸君が表現コミュニケーションのための知と技を学習することによって、子どもたちの心の扉を開く、他の保育者にはないノウハウを習得できると考えています。

二つ目の素晴らしい点は、日本音楽学校が提供するいろいろな教育サービスです。代表的なものは、補習授業と就職支援プロジェクトではないでしょうか。

補習授業は毎週1回60分、放課後に行なわれます。授業は「初歩保育」、「ピアノ」、「国語表現」の3科目です。子どもと触れ合った経験の無い学生、ピアノを弾けない学生、日記・観察記録・手紙などが書けない学生は少なくありません。

しかし、みんな保育園や幼稚園で働きたいという夢を持っています。

もしこのまま実習に行ったら、恐らく躓いてしまうでしょう。本来なら正規の授業の勉強だけで足りるはずですが、あまりに経験の少ない人が増えてきました。そこで補習が必要になったのです。

どうかあなたの夢をかなえるために、特別サービスの授業を受けてください。

これらのエクストラの授業や指導を当然のごとく行うことが出来たのは、やはり105年という日本音楽学校の伝統と豊かな教育経験が紡ぎだす底力に違いありません。

今日はいいい機会ですから、日本音楽学校の歴史とその夢について少しだけお話ししましょう。

明治期、東京芸大の音楽学部は東京音楽学校と呼ばれていました。東京音楽学校教授の山田源一郎先生が日本音楽学校の前身、「音楽遊戯協会」という学校を1903年（明治36年）、神田錦町に開校しました。そして本格的な音楽教育を行うため、日本最初の私立音楽学校、すなわち「日本音楽学校」の設置準備に取り掛かりました。山田先生自らは東京芸大の教授を止めてしまいました。

2年後の1905年、明治38年の秋、山田源一郎は男女共学の「日本音楽学校」の設置願いを東京府知事に申請しました。しかし、物事は簡単に進みませんでした。

実は、申請を準備している最中、神田錦町界限では日本音楽学校という男女共学の学校ができるとの噂が流れ、若い男女の共学を目論むとは国家の教育に敵対する思想であるとの強い反発が起こりました。

8月には錦町の有志が文部大臣に設置を認めないでほしいと嘆願書を提出しました。東京府は警視庁に音楽遊戯協会の内偵を命じました。

今、こうして男女の学生が一同に会し、仲良く隣り合って座っております。何の不思議もありません。

明治時代以降、第二次世界大戦で降伏するまで、男女別学が主流でした。

これは、1891年（明治24年）に出された「学級編成等ニ関スル規則」があったからです。尋常小学校の1、2年だけを共学として、3年生以降は男女別学とし、男子と女子とでカリキュラムも教科書も全く別な物とすることが、各学校に義務付けられたのです。

したがって、戦前の日本には高等教育の男女共学校は存在しませんでした。

1947年（昭和22年）に教育基本法が制定されました。教育基本法は第五条で男女共学についてこう書いています。「男女は、互いに敬重し、協力しあわなければならないものであって、教育上男女の共学は、認められなければならない。」

話を元に戻します。明治という時代背景の中で果敢に推進しようとした、男女共学の日本音楽学校の設置構想は認められず、「女子音楽学校」と男子学生のための「日本音楽協会」を併設し、音楽家と音楽教員の養成に着手せざるをえませんでした。

このような多難なスタートがあつてから、じつに24年後の1927年（昭和2年）に、日本音楽学校が認可されたのです。四半世紀が経って夢が実現したのです。

Dream Comes True 夢を叶えるという表現には、人間の一生をかける夢があり、その例が身近にあることを、日本音楽学校誕生のエピソードから感じ取っていただきたいのです。

悠悠延延たる長大な時の流れの中を受け継がれてきた夢が日本音楽学校にはもう一つあります。

1927年（昭和2年）に、日本音楽学校が生まれてから、16年が経ちました。第二次世界大戦も終わりに近い1943年（昭和18年）、今私の後ろにいらっしゃる三浦理事長のご尊父・三浦泰先生が日本音楽学校の経営を依託され、学校再建に着手されました。幼小中高と教育を段階的に構築し、やがて大学を擁する学園構想のブループリントを検討をするまでに発展しました。

先代の理事長が学園再建に着手して25年という長い月日が流れました。大きく飛躍した学園は大学を設置する準備にエネルギーを傾注し始めました。

折しも、1968年（昭和43年）から1969年（昭和44年）にかけて全共闘や新左翼諸派のが全国的に盛んになり、東大闘争、日大闘争を始め、多くの大学が学生運動の波に翻弄されました。日本音楽学校もその波に大きく揺さぶられ、大学設置の夢をしばし、諦めざるを得ませんでした。

そして今、その時から38年、実に長い年月をかけて、日本音楽学校は有明に新しいキャンパスを誕生させようとしています。

38年間の夢が受け継がれようとしています。

今年入学した学生諸君は、最後の日本音楽学校の学生となつて、38年の夢を検証する証人となつていただくのです。

1903年の構想から25年経って、日本音楽学校が誕生し、1960年代の大学構想から約40年近くたってその構想が実現されようとしている、この恐ろしいまでの長い時の流れを経て人間の夢が受け継がれる凄さに私は敬服せざるをえません。皆さんにも共感していただけたらと思います。

Dream comes true.

小さな夢もあります。甘口の夢もあります。日本音楽学校の誕生と有明への移転に関わるような重厚な夢もあります。

皆さんが保育者となつてケアする子どものご両親は、子どもが大人になったとき、今の自分たちより少しだけでもいい、幸せになつてほしいと願つて子育てをし、親の手が追いつかない部分を諸君に手伝ってもらふことになりま

す。皆さんは目の前の子どもの幸せを第一に考えるとともに、実は親が願つた、子どもが親と同じ年齢になったとき、親より少しでいいから幸せになつてほしいと願う親子二代にわたる長期の夢に保育という仕事は関わっているという事実を知つてほしいのです。

あなたは今夢をもっていますか。その夢は叶うと思ひますか。

いつの日か、頑張れば、努力すれば、ことによつたら叶うかもしれない、と思われるのが夢ではないでしょうか。

学校という詩を紹介します。

ここは私の学校だ

ここで私は考え、語り、友達の話聞くことを学ぶ
それ以上に、この世界の中で私が生きる場所を発見
するための勉強をする

私はシェアすることを（分かち合うことを）学ぶ
すべての人と

私はいたわることを学ぶ

すべての子どもや弱い人を

私は夢を消さないことを学ぶ

私自身のために

平成19年度 卒業生

3月6日(木)三浦記念ホールにて、日本音楽学校卒業式が行われ、保育士コース22名、保育士・幼稚園教員コース80名、合計102名の卒業生が巣立っていきました。

表彰された方は次の方々です。

答 辞 : 安藤 あゆみ
優 等 賞 : 安藤 あゆみ
全国幼稚園教員養成機関連合会表彰 : 高畑 佳織
全国保育士養成協議会表彰 : 積田 栄
児童厚生員養成課程連絡協議会表彰 : 富田 樹

平成19年度 ティーチング・アシスタント 表彰

4月8日(火)、平成19年度1年生のティーチング・アシスタント(TA)の中から最も活躍した2名が表彰され、授業料の一部免除の特典が与えられました。2年生に進級してからも益々の活躍を期待しています。

《保育士コース》 谷本 ゆず子
《保幼コース》 大山 義弘



谷本 ゆず子 さん

また、平成20年度1年のTA候補生に対する説明会も行われました。1年生は、同席した2年生の谷本さんと大山さんからのアドバイスの言葉に熱心に耳を傾けていました。



大山 義弘 さん



1年生へアドバイス

☆ティーチング・アシスタント(TA)とは…

大学・短期大学卒業生、社会人経験5年以上の方、または子育て経験のある方等を対象に選考し、授業補助を行ってもらう制度です。

学生傷害保険

本校では、学生全員が入学時に学生傷害保険に入っています。学校管理下におけるケガや事故に対し、2年間保障されており、次の項目において適用されます。

- * 本人がケガをしたことによる通院、入院または死亡した場合
- * 他人にケガをさせたり、過って器物を破損した場合、ケガをした時、させた時はすぐに教務課まで連絡してください。

平成20年度 入学生

4月4日(金)三浦記念ホールにて、日本音楽学校入学式が行われました。

保育士・幼稚園教員コース 43名
(男子17名・女子26名)

学生アドバイス・オフィス

アドバイス・オフィスでは、学生たちの悩みや解決できない問題を一緒に考え、問題を解決するための考え方、方法、手段をアドバイスします。専門家に相談してみると簡単に解決できるかもしれません。個人情報には絶対に漏れることはありません。下記まで気軽に申し込んでください。

advice.nichion@docomo.ne.jp または、
[090-2557-1844](tel:090-2557-1844)

【スタッフ】 富岡 麻由子 児島 智美
三澤 裕見子 杉本 信
小林 志郎

施設利用について

- ① 図書館
【開館時間】 (月～金のみ・土日祝日閉館)
書庫・・・9:00～16:40
閲覧室・・・9:00～17:00
閲覧室内のパソコン利用・・・9:00～16:40
【貸出】
冊数・・・一人2冊まで
期間・・・2週間以内
- ② 学生会館
【開館時間】 〈平日〉 9:00～18:00
〈土曜日〉 9:00～15:00
【購買部利用時間】
11:00～15:30 (平日のみ・水曜日定休)
【コピー機利用時間】 9:30～17:00 (平日のみ)
- ③ ピアノ練習室 (7号館1F)
【利用時間】 〈平日〉 8:30～18:30
〈土曜日〉 8:30～15:00
【ピアノの練習について】
 - ・事務局で「ピアノ練習券」を購入してください。(1枚300円、30分×10回分)
 - ・予約制です。利用する当日に事務局で予約をしてください。